

こちらは米国で配信されたプレスリリースの翻訳です。

バクスターインターナショナル プレジデントにジョン グレイシュ氏就任 グレイシュ氏の後任 CFO にロバート デイビス氏就任

米国イリノイ州ディアフィールド、2006年5月17日－バクスターインターナショナルインク(NYSE: BAX、以下バクスター社)は、コーポレートバイスプレジデント兼プレジデントの職位を新設し、同職にジョン J. グレイシュ氏が就任したことを本日発表した。グレイシュ氏(50歳)は、2004年に最高財務責任者(以下CFO)に就任し、米国外のバクスター社の事業責任を負う。また、同社の財務責任者であるロバート M. デイビス氏(39歳)が、グレイシュ氏の後任として、コーポレートバイスプレジデント兼 CFO に就任する。両氏は、同社の会長兼最高経営責任者(CEO)であるロバート L. パーキンソン Jr.氏にリポートする。両人事は即日実施される。

「両者に対する役員会と私の信頼を反映した人事である」と、パーキンソン氏は言う。「バクスター社の収益の50%以上を海外事業が占めている。CFO及びバイオサイエンス事業部長としての実績やバクスター入社前に国際経験があるジョン グレイシュは、当社の海外事業を率いるに相応しい。彼のリーダーシップにより、マーケットリーダーとしてのバクスター社のポジションを十分に活かすとともに、海外事業を拡大し、当社はさらなる成長を遂げることができるだろう」と語る。

グレイシュ氏は、透析事業の財務責任者として、2002年にバクスター社に入社した。2003年にバイオサイエンス事業の財務及び戦略責任者、2004年1月にバイオサイエンス事業部長、2004年6月にコーポレートバイスプレジデント兼 CFO に就任した。同氏は、マイアミ大学の経営学士及びノースウェスタン大学大学院ケロッグ校の経営学修士を取得している。

「ロバート デイビスは、2004年の入社以来、ジョン グレイシュと緊密に働き、バクスター社の財務強化に大いに貢献してきた。CFOという重要な役割に相応しい、彼のような優秀な人材がいることを喜ばしく思う」と、パーキンソン氏は言う。

2004年の入社以来、デイビス氏は財務責任者として、年金運用や保険のリスクマネジメント、長期金融市場、キャッシュマネジメントなどに係るバクスター社全体の財務運営を監督してきた。また、同社の専用保険会社及び米国における与信及び回収業務に係る責任も負う。デイビス氏の後任が任命されるまで暫定的に、同氏は引き続きこれまでの財務責任も負う。

バクスター入社以前、デイビス氏はイーライリリー社で、アシスタント トレジャーラーやコーポレートファイナンシャルプランニング ディレクター、タックスカウンセラー、コーポレートタックスプランニングなどの財務職を歴任した。同氏は、マイアミ大学の財政学士を取得後、ノースウェスタン大学法学部の法律学士及びノースウェスタン大学大学院ケロッグ校の経営学修士を取得している。

また、バクスター社は、2004 年からバクスターヨーロッパ プレジデントに就いているジェームス E. ウッツ氏が 8 月 4 日付けで退職することも発表した。同氏は、同社の米国及びカナダ、ヨーロッパにおけるマーケティングや経営の管理職を歴任した。「プレジデント就任以来 2 年間、ジェームス ウッツ氏は、ヨーロッパにおいて素晴らしい指導力を発揮した。彼の 31 年間のバクスター社への多大な貢献は全社で十分に認知されている」と、パーキンソン氏は言う。

バクスターインターナショナル社及びその子会社は、血友病や免疫障害、癌、感染症、腎疾患、外傷など治療が困難な傷病に対する治療法を提供し、医療関係者や患者を支援している。同社は、医療機器及び医薬品、バイオテクノロジーに係る専門技術を活用し、医療に新たな価値を創造する。

本件に関するお問合せ先：

バクスター株式会社

広報部 池田純子

TEL: (03) 6204 3662 FAX: (03) 6204 3681